

令和3年（2021）9月3日～9月8日

令和3年度（2021）

第3回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和3年度（2021）第3回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

9月3日（金） 10:00 開会			9月6日（月） 10:00 開会			9月7日（火） 10:00 開会			9月8日（水） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	錦 織 稔	3	1	石 橋 広 信	10 ～ 11	1	大 場 利 信	19	1	玉 木 満	27
2	高 橋 扶治夫	4	2	保 科 孝 充	12	2	後 藤 由 美	20 ～ 21	2	本 田 一 勇	28
3	南 浩 二	5	3	岸 道 三	13	3	寺 本 淳 一	22	3	福 島 孝 雄	29
4	大 谷 良 治	6	4	鐘 推 義 憲	14	4	吉 井 安 見	23 ～ 24			
5	湯 浅 啓 史	7	5	福 田 実	15	5	板 倉 一 郎	25			
6	湯 浅 万里子	8	6	木 佐 宏	16	6	児 玉 俊 雄	26			
7	伊 藤 繁 満	9	7	今 岡 久 人	17 ～ 18						

質問者	13 錦織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 新内藤川流域河川の洪水対策について	
<p>① 7月、8月の大雨により、新内藤川、赤川、塩冶赤川、午頭川は水位が上昇し付近の水田は冠水し、一部の住宅地は外出できない状況になりました。昭和60年から段階的に河川改修工事を進めすでに35年が経過し、計画時の住宅地の実態と現在では大きく異なり、当初、今日のように宅地化が進むことを想定されていたのでしょうか。市街地のコンクリート化や排水路の整備によって、河川の流量は短時間で上昇しているように思います。新内藤川流域河川改修の今後について伺います。</p> <p>ア 新内藤川流域河川改修計画の全体の進捗状況</p> <p>イ 浸水エリアにおける開発規制ができるのか</p> <p>ウ 通学路の標識を漢字表記からピクトグラムにできないか</p>	
(2) 飲酒運転根絶に向けた取り組みについて	
<p>① 本年、6月28日に千葉県八街市で飲酒運転によって児童5人が死傷する痛ましい事故が発生しました。マスコミ報道等では通学路の整備に焦点が当たっていますが、この事故の主な要因が飲酒運転であることは明らかです。1999年に東名高速道路にて幼児2人が犠牲となる事故を契機に飲酒運転に対する厳罰化が進みましたが、アルコール依存症に由来するものなど根の深い課題もあります。本市の飲酒運転の根絶に向けた取り組みについて伺います。</p> <p>ア 飲酒運転根絶に向けた機運の醸成について本市の取り組みを伺います</p> <p>イ 活発な情報発信（HP・チラシ・SNSの活用、ステッカー・パンフレットの作成・配布）の必要性を感じますが取り組みを伺います</p>	

質問者	7 高橋 扶治夫
質問事項・質問内容	
(1) 災害時の避難情報の発令と避難所について	
<p>① 今回の7月7日の豪雨により、地域の土砂災害警戒区域に避難情報が出され、指定避難所としてのコミュニティセンターへたくさんの方が来られました。続いて7月12日の豪雨は南部そして斐伊川・神戸川の上流方面に集中したことから、土砂災害と中小河川や斐伊川・神戸川の氾濫という多面的に心配をしておりました。このような状況下で警戒レベル4、市内全域に避難指示が発令されました。そこで避難情報の発令と避難所について伺います。</p> <p>ア 7月12日、警戒レベル4の避難指示が出雲市全域に発令された時点で、危険が高まっていることを地域の方に連絡しても、指定避難所が限定的であったため、どこへ避難して良いか判断できないという声をたくさん聞いております。広いスペースのある体育館などの避難先を開設する考えはなかったかを伺います。</p> <p>イ 斐伊川と神戸川の危険水位と警戒レベルの発令との関連はあるか、また氾濫危険水位になった場合の市民への情報伝達はどのようになっているかを伺います。</p> <p>ウ 斐伊川放水路の分流開始の基準はどのようなものか、そして分流開始の市民への情報伝達はどのようにされるかを伺います。</p> <p>エ 「出雲市地域防災計画」の中に「福祉避難所」という避難所が設けてありますが、どのような仕組みのもので、また今回開設されたのかを伺います。</p> <p>オ 避難所を開設し運営する市の職員向けのマニュアルはあるようですが、コミュニティセンターの職員向けの行動マニュアルはないのでしょうか。伺います。</p>	
(2) 境港出雲道路の早期実現に向けての進捗状況を伺う	
<p>① 現在、境港出雲道路は、全長70kmのうち平成5年に事業化して以来28年間東林木バイパスの共用部分4.2kmしか工事されていません。境港出雲道路が全線開通すれば、①出雲大社―松江城―境港水木ロードの観光ルートが短くなり観光客の増加が見込まれる。②境港港や七類港・河下港の利用促進が進み、人・物の動きが活発になる。③島根原発が再稼働すれば防災上の重要な道路となる。④外国からの脅威に対し、陸上自衛隊出雲駐屯地と陸上自衛隊米子駐屯地の連携がとりやすくなり、国防上にも重要である。以上日本海側の一大拠点圏域の経済発展に大きく寄与するものと考えます。</p> <p>一刻も早い実現を望んでいますが、この道路に対する出雲市の見解と、県や国への働きかけがどの程度進んでいるかその進捗状況を伺います。</p>	

質問者	2	南 浩 二
-----	---	-------

質 問 事 項 ・ 質 問 内 容

(1) 子育て支援策について

- ① これまでの出雲市の子育て支援策がどのような成果を上げ、またどのような課題が浮き彫りになったのか、具体的な事例があれば紹介していただきながら市長の率直なご意見を伺います
- ② また課題については、来年度に向けて新たな施策の構築や既存の施策の見直しを考えておられるのであればお気持ちを併せて伺います

(2) 地方譲与税について

- ① 地方譲与税の種類と仕組みを伺います
- ② 出雲市に関わる譲与税を伺った上で、その配分方法と一般財源化の有無を伺います
- ③ その中の航空機燃料譲与税について、その課税目的と平成28年度から令和2年度までの5年間の決算ベースの歳入額を伺います

質問者	16 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 河川管理について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市が管理する河川の除草・堆積土砂対策について <ul style="list-style-type: none"> ア 年次的、継続的な取組み状況 ② 県河川管理と浚渫・除草対策について <ul style="list-style-type: none"> ア 取組み状況 <ul style="list-style-type: none"> a 治水を目的とした堆積土砂対策 b 環境保全（除草対策） ③ 7月豪雨災害後の対応（現況）と対策と課題（市・県河川） 	

質問者	18 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 風水害対応について	
<p>① 災害対応には、市に設置される「災害対策本部」が中心となって行われるが、各地域には任意に組織される「地区災害対策本部」も重要な役割を担い、相互に連携する必要があると考える。</p> <p>ア 地区災害対策本部はどのような役割を担うべきか</p> <p>イ 警戒レベル4の避難指示を発令する段階では、地区災害対策本部の設置を働きかける必要があるのではないか</p> <p>② 本年7月の集中豪雨および8月の台風9号の影響により、市内各地で被害がもたらされた。</p> <p>ア 市ではどのようにして被害状況を把握するのか</p> <p>イ 把握した情報を庁内でどのように共有するのか</p>	

質問者	4	湯 浅 万 里 子
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		
(1) 新型コロナウイルスとの共生		
<p>① 新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン接種が順調に進んでおりますが。</p> <p>ア 治験中でしたが、結果が出たのでしょうか。</p> <p>イ 出雲市のワクチン接種後の副反応を聞かせてください。</p> <p>② ワクチン接種後も感染する方々がいらっしゃいます。今後、病床数によって、軽症で自宅待機になる場合もあると思いますが、対応がわかっていると安心感がありますので、教えてください。</p>		

質問者	23 伊藤 繁 満
質問事項・質問内容	
(1) 本年の豪雨・台風被災に伴う災害対策本部設置体制に関する課題について伺います。	
<p>① 本年は例年より一月も早く梅雨入りし連日の降雨に続き気温も35℃を超える日が続く中で、コロナ感染症防止に係る対策の実施等、住民生活に様々な支障が生じています。</p> <p>7・8月は度重なる豪雨に加えて台風の影響で市内各地において大きな災害が発生し住民生活に大きな支障が生じることとなりました。静岡県熱海市で発生した土石流災害、広島市安芸区で発生した土石流災害の例を教訓とし長雨が続きと中山間地における土石流発生は予期しなければなりません。荒廃している山々が連なっている状況は危険が差し迫っているといえます。</p> <p>平成18年7月豪雨以来の災害対策本部の設置でありましたが平成の大合併から16年、斐川町と合併して10年が経過しているにもかかわらず全体の把握がされず市井の声として課題が露見されています。個々の課題はありますが、今回は基本的な課題について伺います。</p> <p>ア 防災無線の役割は果たせたのか伺います。</p> <p>イ 避難所の開設は土砂災害警戒区域外も含まれていたこと等、地域の扱いの判断について適切であったのか伺います。</p> <p>ウ 避難所における必要な資機材・生活用品等の備蓄確保状況について伺います。</p> <p>エ コミセン職員は市職員と身分保障が違いますが災害対策本部の指揮命令下に入るのか伺います。</p> <p>オ 7月7日の新聞記事では島根県は6日、市町村に対し「空振りを恐れず避難指示等を発令するように通知した」と報道されています。これを受けて実際に避難指示発令はどのような情報・状況から発令されたのか伺います。</p> <p>カ 市内全域に一律に対応すべく災害は考えにくくむしろ今回も各行政センターの役割の重要性が指摘されています。本部機能の縮小化を図り行政センターに権限を付与し地域の被災状況に対処することがより効率的・適切ではないかと考えられますが伺います。</p>	

質問者	5 石橋 広 信
質問事項・質問内容	
(1) 7月の大雨、8月の台風9号の災害対策に関する質問	
<p>① 災害時の対応に関する確認事項を質問いたします。</p> <p>ア 災害時に大変な状況になった場合はどこへ連絡すればよいでしょうか。</p> <p>イ 出雲市からはどのような災害対策があるのでしょうか。</p> <p>ウ 緊急時の地域の状況（家族構成等）の確認はどのようにしたら良いでしょうか。</p> <p>② 災害時期を迎えるにあたって事前の災害対策は可能でしょうか。</p> <p>ア 長く伸びた地元河川の草刈り、その他</p> <p>イ 危険地帯の状況確認</p> <p>ウ 樋門の状況確認</p> <p>エ 土嚢の事前準備（砂入り）</p> <p>③ 浸水しやすい地帯に対しての特別対応は可能でしょうか。</p> <p>ア その地域限定のポンプ対応</p> <p>イ 小さい排水路への対応</p> <p>ウ 床下浸水対応</p> <p>④ 今回の災害を通じて感じたこと等に関して質問いたします。</p> <p>ア 地域の方々のご協力と町内会の意義</p> <p>イ ボランティア活動への感謝</p> <p>ウ 撤去物の廃棄場所の早期対応と地域での指定場所の通達</p> <p>エ かつて災害があった場所の補修工事により今回の被害が少なく済んだことの教訓</p> <p>オ 災害状況を把握された方々の速やかな連絡</p> <p>カ 防災無線のPRコマーシャル（CATVなどで）</p> <p>キ 排水用ポンプ車の設置</p>	
(2) 出雲市の未来を託す小・中・高校生の皆さんへの出雲市の取組みに関する質問	
<p>① コロナ感染拡大の影響で深刻化する社会的孤立、そしてその他の状況の変化の中で小・中学生の皆さんが抱える問題に対してのケア対策について伺います。</p> <p>ア 現在そのような窓口はありますか。あればその反応はいかがですか。</p> <p>イ なかなか本人からのご相談は難しいと思われませんが何か良い対応はありますか。</p> <p>ウ 大人だけでなく、若い世代の方々が感じる問題点に対しての受け皿の必要性を強く感じますが、出雲市としてのお考えはいかがですか。</p> <p>② 小・中学生の皆さんが毎日通われる通学路について伺います。</p> <p>ア 6月に千葉県であった下校時の事故に怒りを覚え、出雲市内の通学路での同様な悲惨事故を起こさせないための、現在の通学路の安全点検は行われましたでしょうか。</p> <p>イ 今と昔とでは状況の変化により通学路に対しての捉え方が変わってきていると思いますがいかがでしょうか。</p>	

ウ ある地域では安全対策として通学路の歩道側にグリーンカラー舗装され運転手の方に安全を心から意識してもらおう対策がなされていますが、他の地域を含めた対応策とその反応はいかがですか。

③ 小・中学生の皆さまの成長を支える学校給食に対しての出雲市の取組みをお聞かせください。

ア 食材の取扱いに関する決まり事がありますか。

イ 地産地消に対して取組みはいかがですか。

ウ 子供さんの発育に有益と言われる有機野菜を使用した「オーガニック給食」の取扱いに関してのお考えはいかがですか。

④ 奨学金制度に対しての質問です。

ア 現行の国の制度に対して出雲市としての取組みはいかがでしょう。

イ 新たな国の制度に関して、出雲市の状況をお聞かせください。

質問者 24

保科孝充

質問事項・質問内容

(1) 白バイ訓練場（出西の神氷）周辺の交通安全対策等を伺う

- ① 斐川町出西の神氷にある島根県所有の通称白バイ訓練場(約9,000㎡)について、近い将来民間を含めて払い下げされるという計画を聞きました。この敷地の南側は都市計画道路の予定地に含まれていますし、北側は市道斐川4号線が走る交通の要所です。都市計画・交通安全の観点から伺います。
- ア この土地が一旦民間へ売却されたあと、都市計画道路等として必要部分を取得することはそう簡単ではないと考えます。出雲市の都市計画あるいは交通安全上大きな後悔・損失につながります。近い将来を見据えて、次により先行取得を要望します。
- a 都市計画道路予定地の南側部分
- b 市道斐川4号線に接した北側の歩道希望予定地。
- イ 隣接する神守公園、民間の空き地等の一部を歩道用地として取得・利用すれば、東側から通じる歩道が神守交差点まで延長が可能となり、交通要所としての交通安全が著しく向上します。計画を立てて頂きますよう強く要望します。

(2) 出雲市の母子保健制度について伺う

- ① 出雲市の母子保健制度等について、現在の制度内容、今後の計画について伺います。
- ア 妊娠して生まれてくるまでの、現在の主な支援制度。
- イ 内閣府が進めている「訪問型子育てサポート事業」については進める考えはないか。
- ウ 現在くにびきホール等で実施されている検診等の拠点施設整備については、どのような考えか。
平成24年12月議会で議決された出雲市の10年間の指針「出雲市総合振興計画」に、健康診査・健康相談・離乳食教室・発達障がいの支援など、子どもたちの拠点機能を備えた複合施設の整備を検討しますとあります。

質問者	17 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 脱炭素社会の実現について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 「第2次出雲市地球温暖化対策実行計画」の進捗状況と課題 ② 新たな計画策定に向けたスケジュール ③ 財源確保に向けた取り組み 	
(2) 地方公務員の定年引上げに係る対応について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 今回の法律・制度改正における所感 ② 改正に伴う課題 ③ 施行までのスケジュール 	

質問者	6 鐘 推 義 憲
質問事項・質問内容	
(1) 登下校時の交通安全確保と、通学路および生活道路における歩道部等の改良整備について	
<p>① 今年6月、千葉県八街市において、下校中の児童の列にトラックが衝突し、5名が死傷するという痛ましい交通事故が発生しました。この事故は記憶に新しいところですが、過去にも全国でこのような悲惨な事故は発生しており、やりきれない思いがしています。近年だけでも、平成28年に、同じ八街市で登校中の児童の列にトラックが突っ込み、4名が重軽傷を負う事故が発生したほか、同年、神奈川県横浜市内においても同様の事故により1名が死亡、6名が重軽傷を負うなど、通学路における悲惨な交通事故が後を絶たない状況です。</p> <p>国においては、平成24年の登校中の児童等の列に自動車が入り込む事故等を受けて、文部科学省・国土交通省・警察庁等の関係官庁による、全国一斉の通学路をはじめとした生活道路の安全確保のための緊急合同点検が行われ、以降、同様の事故が発生した際には「通学路等における交通安全の確保」に向けて通達が発出されています。</p> <p>ア そこで、登下校時における交通安全の確保について伺います。</p> <p>a 出雲市内で、過去10年間に登下校時にどのような種類の交通事故が発生していますか。発生していれば、年度ごとの種類別発生件数の推移と、各発生事案に対してどのような改善策・再発防止策がとられたのか伺います。</p> <p>併せて同様に、全国および島根県の年度ごとの種類別発生件数の推移について伺います。</p> <p>b 平成24年以降、国からの通達等に基づき、出雲市としてはどのような取り組みと検証が行われていますか。</p> <p>c 今年6月の交通事故事案にかかる国からの通達「通学路における合同点検の実施」については、現在、どのような取り組みが行われていますか。また、その結果にもとづいて、今後どのように対処される予定ですか。</p> <p>イ 特に、子ども、高齢者、障がい者等、歩行者の安全確保のためには道路交通環境の整備が必要であると考えます。そこで、出雲市内の通学路、生活道路等における歩行者の交通安全対策について伺います。</p> <p>a 現在の通学路および生活道路には、どのような危険があり、また、その危険箇所はどの程度ありますか。</p> <p>b 道路交通環境の整備にあたっては、道路の交通量の抑制、通行車両の速度抑制、ドライバーの視認性向上等の施策が必要ですが、まずは、歩行者と車両が分離された安全な歩道空間をしっかりと確保することが重要であると考えます。そこで、歩道が確保されていない道路、改良が必要な歩道はどの程度あるのか伺います。そして今後、どのように改善される予定なのか伺います。</p> <p>c 特に、歩道が設置されていても、歩道と車道の高低差を付けたマウントアップ形式で設置された歩道については、設置後に沿線の宅地化等が進み、そのための進入路確保により歩道に凹凸ができて、いわゆる「波打ち歩道」となっています。このため、通学する学生や高齢者等、歩行者の通行や自転車の通行にも大きなリスクが発生しています。歩行者の安全確保および自転車の安全通行等の観点から、このような歩道部のフラット化および自転車通行空間の確保等、道路交通環境の改良整備は放置できない喫緊の課題であると考えます。そこで、このような危険箇所が出雲市内でどの程度発生しているのか、そして、バリアフリー法にもとづいて、今後どのような改善方針で取り組まれるのか伺います。</p>	

質問者	3 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 7月災害について	
<p>① 地元の地理をよく知った職員を各地区行政センターにおくべきだと思いますが、お伺いします。</p> <p>② 今後市道においても県道のように維持管理会社を決めて対応して行くお考えがないかお伺いします。</p> <p>③ 市指定避難所開設にあたっての問題点がいくつかあったと思いますがお伺いします。</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 避難所開設職員と市災害対策本部との連絡方法について</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 避難所での災害現況情報の少なさについて</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 暑さ・コロナ対策について</p> <p>④ 水防団の出動体制についてお伺いします。</p>	

質問者	15 木 佐 宏
質問事項・質問内容	
(1) 近年のゲリラ豪雨頻発から、昨今の線状降水帯異常発生で、消防団員の必然的組織増強と拡充へ抜本的処遇大改善を要請する	
<p>① 先般8月17日中央新報記事を見てあぜん、出雲市消防団員の劣悪な処遇内容に有る本市の現状は年俸1万7千500円とのこと。不規則な時間に突然招集され、他に類を見ない過酷な土嚢作り、災害現場で浸水防止設置作業、悪しき制度の土木委員。処遇は実質数倍以上か。加えて視察旅行付きとか。今日まで放置されていたのが不思議である。</p>	
(2) 職員の公務に於ける名刺、差し出しの必然性について	
<p>① 名刺所持の意義と記載要旨、作成経費の適正化について</p> <p>② 名刺作成費用全額の公費負担を求める</p>	

質問者	8 今岡久人
質問事項・質問内容	
(1) 7月・8月の大雨被害を検証する	
<p>① 国の災害時避難情報の発令方が変わりました。市民に対して避難情報に関するパンフレットが配布され更には、防災ハザードマップも配布されました。この変化で出雲市として大きく変更された事はありませんか。</p> <p>② 8月6日議会に対して今回の大雨災害について詳しくご説明がありました。様々な意見がありましたが、7月12日は避難指示が出た後、避難場所の指定迄に時間がかかりすぎたのではと思いますが原因は何でしょうか。</p> <p>③ 避難場所に指定するにはどのような準備が必要でしょうか。例えばコミセンに必要な物品は配置してないのでしょうか。コミセン以外の場合どのような方法で必要物品は配布されるのでしょうか。</p> <p>④ 職員の配置はどのような基準（例えば人数とか）で決められていますか。またその指示は誰がなされていますか。</p>	
(2) 出雲エリアの観光のあり方の一考察	
<p>① 出雲の観光は出雲大社を中心として成り立っています。出雲大社観光後のお客様をいかに長く滞在して頂く事が出来るのかが重要なポイントです。出雲の観光地は点在していることがネックであり、結びつけるアイデアが必要です。</p> <p>夕方四時半を過ぎると神門通りの各店舗は閉店作業です。（現在の状況ではなく）</p> <p>そして宿泊者は大半が出雲市以外での予定と聞きます。現在は旅館も新規にできていますが、やはり門前町の旅館を活かすべきと思います。私は次のようなアイデアを考えてみました。利害関係もあり、私の考えが適切かどうかは別として、今までの延長線上で物事をやっていたはいけないと思います。皆様のご意見をお聞かせ下さい。</p> <p>ア まず宿泊は大社地内で一泊朝食とする。そして夕食は出雲市駅周辺のレストラン等を利用して頂く。旅館と出雲市内はタクシーにより輸送する。経費は、旅館・タクシー会社・飲食店そしてお客様にも少しはご負担をして頂く。ここには大社地内の旅館に人件費等でご負担をかけない事。そして出雲市駅周辺のレストラン等も新規の顧客拡大につながるという面を持たせています。</p> <p>イ 出雲大社で活躍されている観光ガイドさん達（ボランティア含む）に、大社のご案内だけでなく、平田木綿街道や須佐神社について勉強をして頂き、大社のガイドと合わせお話を頂くようにする。これにより木綿街道・須佐神社への誘客の一助となるようにする。平田地区の皆さん、そして佐田地区の皆さんにもご協力を仰ぎ出雲地区全体に観光客を呼び込み産業の活性化を図ることが必要と思います。</p> <p>ウ うさぎ号のご利用実績はいくらでしょうか。</p> <p>素晴らしい取り組みがなされており、山陰観光には、JR・航空機での来訪が多いと思いますが、お客様には、まず手荷物をターミナルから利用宿泊先まで別便で運ぶ。</p> <p>身軽になったお客様はうさぎ号やタクシーでの観光をして頂く。ご利用される旅行会社と契約が必要である。</p> <p>特に須佐神社へのお客様は自家用車でのお参りが中心となっている。輸送手段が限られているため。そこで観光価値を高める施策が必要である。（八雲風穴や立久恵峡等）神社巡りのお客様には喜ばれる施策と思います。</p>	

- エ JALから客室乗務員が出向でいらしています。彼女たちの接客ぶりは如何でしょうか。観光地の知識は別として、JALの社員であれば接客応対ぶりは素晴らしいと思います。私の経験から他国の航空会社とは一味違う接客サービスを提供しておられます。
- そこで提案です。せっかくご縁が出来て出雲の地で働いて頂く事ですから、JALの接客マナーを当地で教えて頂こうではありませんか。地域の商店街の皆様を始めとして、市内の色々な企業とコラボして接客マナーを広めたらよいと思いますが如何でしょうか。
- オ 現在輸送関係の会社（鉄道・航空業界）は大変な状態です。コロナにより以前の経営体系は崩れたと思います。JRもANAも様々なところに社員を出向されています。先般テレビでANAの出向社員を取り上げて放映されていました。契約期間は年単位と聞きましたが、JALは如何ですか。やはり年単位の契約が好ましく思います。如何でしょうか。

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 地域共生社会を目指して	
<p>① 国は団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、高齢者への認知症やフレイル予防のために地域で高齢者を支援する「地域包括ケア」を推進していますが、高齢者支援に限らず更に一歩進めて、今年4月から「地域共生社会」へ向けて新しい事業を打ち出しました。これについて以下伺います。</p> <p>ア 「地域共生社会」の理念を伺う。</p> <p>イ 「地域共生社会」の理念を具体化する「重層的支援体制整備事業」の内容を伺う。</p> <p>ウ 引きこもりや8050問題（80歳の母親が50歳の息子の面倒を見る）の改善にも適用できると考えるが伺う。</p> <p>エ 国は今年4月から、高齢、障がい、子育て、生活困窮に対する既存の制度（縦割り）を超えて交付金で横断的に支援できる財政措置（交付金）を導入したが、これについて具体的な相談体制等を聞きたい。</p> <p>オ 出雲市における導入計画を伺う。</p> <p>カ 「地域共生社会」を具体化するため、先進他市においては、人材や地域資源を有効に活用しているが、出雲市での今後の活用について伺う。</p>	
(2) 市民協働推進事業について	
<p>① 市民団体と市が協働して行う活動については6月議会の施政方針質問で伺い市長の前向きな答弁をいただきました。ここではさらに深掘りし、質問をいたします。</p> <p>ア この事業の内容について概要を伺う。</p> <p>イ 審査会及び審査基準はどのようなものか伺う。</p> <p>ウ 過去に、どのような事業が提案され、採用されたか状況を伺う。</p> <p>エ 提案された事業の中で、市の事業として取り入れたいと思われる事業もあったかと思われるが、このような事業については、提案者に実施を委託する方向もあると考えるがこれについて伺う。</p>	

質問者	11 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 「生理の貧困」対策について	
<p>① 長引くコロナ禍の影響もあり、収入減少やアルバイト先が見つからないなど、経済的事情などで生理用品を十分に入手できない「生理の貧困」が問題になっています。市民や女性団体の急速な運動の高まりを受け、政府は4月、新型コロナウイルス対策の予備費2兆1692億円を閣議決定し、その中に「生理の貧困」に対応して生理用品の提供など相談活動に46億円計上しました。この国会の動きが力になり、全国の地方自治体で取り組みが広がっています。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>ア 内閣府男女共同参画局によると、「生理の貧困」に係る取り組みを実施している地方公共団体は7月時点で581団体であり、5月時点の255団体から急速に広がっています。東京都では、9月からすべての都立学校で女子トイレに生理用品を配置することが決まるなど、恒常的に公共施設や学校に生理用品を無料で配置する自治体が広がっています。どの子ども安心して学校へ通えるように、トイレットペーパーがトイレに備えてあるのと同様に、小・中学校の個室トイレに返却不要の生理用品を備えるべきと考えます。現在の市の状況を伺います。</p> <p>イ 「生理の貧困」は、コロナ禍での経済的支援という一過性のものではありません。保護者からのネグレクトで生理用品を買ってもらえない、父子家庭で父親に言いにくい、また「女性だけの問題」という意識も強いなか、女性の健康や尊厳に関わる人権問題としてとらえ、そのための教育と理解を広げることが求められています。市の認識を伺います。</p>	
(2) 今後の防災・減災事業の強化について	
<p>① 7月の大雨災害では、市内の広範囲で土砂崩れによる道路の通行止め、浸水被害、裏山の土砂崩れ、道路・河川などの崩壊、農地被害など大きな被害が発生しました。地球温暖化の影響もあり、近年、災害が大規模化・多発化している状況にあります。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>ア 今回は短時間での記録的豪雨となり、住宅浸水や土砂災害が発生し、深刻な被害が多発しました。このような災害に対応した防災安全対策にするため、既存対策を総点検し、計画を見直し、強化する必要があると考えます。また、県や国に対し、防災・減災事業予算を抜本的に増額し、事業の推進をさらに加速させるよう求めるべきです。所見を伺います。</p> <p>イ 災害現場で、技術職員をはじめ防災担当や専門的な知識と経験を持った職員を十分に配置、充実させることが必要です。この間の職員の削減や、支所から行政センターへの移行にともない、住民の要望にどれだけこたえられる体制があったのか問われています。市の認識を伺います。</p>	

(3) 豪雨による被災者の生活再建支援について

- ① 7月の大雨災害で、様々な意見・要望が寄せられました。「自宅の裏山が崩れ、部屋まで土砂が入った。今はブルーシートで覆っているが、防護壁などで補強してほしい」「農地や水路に土砂が入った。今年がいいが、これからどうしようか」「もう、ここでは住めんかもしれん」。今、求められているのは、被災者に寄り添い、励まし、生活と生業の再建に希望が持てるよう、従来の枠組みを超えた積極的な支援策を講じることです。

そこで、伺います。

- ア 生活と生業の再建支援である市の被災者支援制度を、あらゆる方法で被災者に周知すること、また、被害の実態をよくつかみ、市の方から1人1人に支援策を提示することが求められています。所見を伺います。
- イ 住家の被害認定は、被災者支援のためにあります。被害認定は部位（基礎、柱等）別に損害割合を算出し、住家全体の損害割合を算出して判定するだけでなく、住家の経済的被害も考慮し、生活再建に向けた弾力的な運用が図られるようにする必要があります。所見を伺います。
- ウ 土砂災害により住居家屋や周辺の土地へ土砂が崩落した場合、撤去費用の一部を助成する「出雲市崩落土砂等撤去費助成金」があります。助成金額は10万円を限度に2分の1以内です。裏山の土砂崩れは市内で236件報告（7/30時点）がありますが、この助成金を申請したのは50件あまりです（8/25時点）。条件の緩和と助成金のさらなる引き上げを求めますが、所見を伺います。
- エ 「今年はなんとかなっても、来年から米が作れなくなる」など、今回の災害を契機に離農が加速する恐れがあります。国庫補助による「農地及び農業用施設災害復旧事業」がありますが、農家受益者負担分は軽減する必要があります。また、市単独の補助事業もできましたが、さらなる支援で農業が続けられる道筋を示すことが求められています。市の所見を伺います。

質問者	19 寺本淳一
質問事項・質問内容	
(1) 中山間地域農業の現状とスマート農業の必要性について	
<p>① 中山間地域では高齢化と人手不足から地域農業を支えている農業者の負担が増え、担い手確保や省力化と効率化が最重要課題となっています。今年は大雨や台風の影響により多くの場所で土砂災害が起こり農業の持続が困難となってきている状況です。今後、中山間地域農業を維持していくためにスマート農業が重要なポイントになるのか、また、今後は何が必要になるのか伺います。</p> <p>ア 中山間地域農業従事者数の推移（直近とその5年前、10年前）。</p> <p>イ 中山間地域新規就農者数の推移（直近とその5年前、10年前）。</p> <p>ウ 中山間地域でのスマート農業の現状。</p> <p>エ 中山間地域スマート農業のメリット及び課題。その課題に対する支援策。</p> <p>オ 持続可能な中山間地域農業の推進について今後の具体的方針。</p>	

質問者	1 吉井安見
質問事項・質問内容	
(1) PCR検査体制の拡充について	
<p>① 新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大と深刻な医療逼迫が首都圏を中心に全国に広がっています。島根県も県内での感染拡大をうけ、「感染者全員を入院させる」というこれまでの方針を転換し、医師の判断によっては自宅療養も行える体制へと移行することを発表しました。全国では、軽症で自宅療養をしていた方の容態が急変し、命を失う事例も生まれています。新型コロナウイルスから市民の命を守るためのあらゆる対策を緊急に講じることが求められています。</p> <p>ア 感染の主体が「アルファ株」から「デルタ株」へ置き換わり、感染の拡大、重症者の増加など新たな局面に入っているが、新たなコロナ対策は実施されていない。従来通りの対策ではコロナ感染症を封じ込めることはできないと考えるが、市の所見を伺う。</p> <p>イ 広島県などでは、独自に検査体制の拡充が図られている。出雲市でも、ワクチン接種を進めるのと同時に、いつでも、どこでも、誰でも無料でPCR検査を受けられる体制をつくるべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>ウ 市民の命と健康を守るため、あらゆる対策を総動員して新型コロナ封じ込めの対策を進めるべきと考えるが、市の取り組みを伺う。</p>	
(2) 災害対策の強化について	
<p>① 近年、全国各地で数十年や数百年に一度と言われる大雨による被害が発生しています。今年7月、8月は、出雲市内でも、記録的な豪雨により土砂崩れや建物への浸水、道路の冠水・破損、農地への土砂流入など様々な被害が発生しました。被災者が一日も早い生活を取り戻せるような支援策と、従来の対策の延長ではない新たな災害対策が求められています。</p> <p>ア 今夏の大雨により、古志町の新宮川など河川改修が進んでいる箇所でも被害が発生している。この大雨災害の教訓と、今後の対策について伺う。</p> <p>イ 7月の大雨時には、避難指示が市内各地に発令されたが、道路の冠水や土砂崩れなどにより避難ができない方もいた。在宅療養をされている方など自力での避難が困難な方もいる。また、福祉施設などからは、「施設が一階建てのため垂直避難はできない。道路が冠水してしまえば避難所へ行くこともできない」との声が寄せられた。市民や地域の実情に寄り添った避難計画の見直しなどが必要と考えるが、対策を伺う。</p> <p>ウ 多くの市民が避難する避難所の運営にあたっては、ジェンダーの視点が大切になると考えるが、所見と取り組みを伺う。</p>	
(3) 島根原発2号機の再稼働は中止に	
<p>① 島根原発2号機の再稼働にむけた原子力規制委員会での審査で、実質的な合格の判断が下されたことをうけ、再稼働にむけた動きが加速しています。しかし、東日本大震災、原発事故の発生から10年がたった今も被災地の復興は道半ばで、約4万人の方がふるさとに帰ることのできない状況が続いています。島根原発が事故を起こせば、周辺自治体である出雲市にも甚大な被害が及ぶことは避けられません。危険な原発の再稼働は中止を求めます。</p> <p>ア 原発事故の被災地の現状をどう考えているか、所見を伺う。また、原発事故からふるさとを守るための決意を伺う。</p>	

- イ 福島原発事故の原因は未だに特定されていない。原因の特定もされないままに作られた新規制基準は「安全」を担保するものではないと考えるが、認識を伺う。
- ウ 避難計画は策定されているものの、豪雨や地震など複合災害も想定される。現在も多伎町内で国道9号の通行止めが発生している。避難計画が、実効性あるものになっているか、所見を伺う。

質問者	27 板倉一郎
質問事項・質問内容	
(1) 7月豪雨による被害への対応について	
<p>① 7月豪雨により市内でも多くの被害が発生しました。今後、出来るだけ早い復旧を望みますが、現状および今後の見通しなど次の点を伺う。</p> <p>ア 7月豪雨被害について農業、公共土木など、それぞれの被害状況、被害金額を伺う。</p> <p>イ 災害復旧の状況について伺う。応急復旧の状況、本復旧の目途について伺う。</p> <p>ウ 災害復旧の事業費の規模および、国、県、市の負担額について伺う。</p> <p>エ 市の負担分の予算については、どのように対応するのか伺う。今年度の当初予算に掲げた事業への影響を伺う。</p> <p>オ 市中心部では、多くの冠水が発生した。その対策の財源に、都市計画税を充て対応すべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>	
(2) 通学路の安全対策について	
<p>① 通学路の安全対策について、現状および今後の取り組みについて次の点を伺う。</p> <p>ア 出雲市の通学路の安全対策の現状について伺う。</p> <p>イ 千葉県八街市で下校中の小学生の列に大型トラックが突っ込み、児童5人が死傷する痛ましい事故を受け7月に通学路の安全点検の依頼が国より出ていますが、その対応状況について伺う。</p> <p>ウ 今年7月豪雨の際、市中心部でも多くの冠水が発生しました。冠水した道路の中には、側溝蓋のない通学路があり通学時間帯に冠水が発生していれば危険な状況でした。また、学校は水害発生時の避難場所となるので、高齢者の徒歩避難のことも考えると、児童と高齢者の両面から対応が必要と考えます。通学路の蓋の無い側溝への蓋掛けについて、市の考えを伺う。</p> <p>エ 通学路は、交通災害、水害の両面から対策が必要と考えます。今後の取り組みについて伺う。</p>	

質問者	12 児玉俊雄
質問事項・質問内容	
(1) 被災支援の拡充と今後の備えについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 崩落土砂等撤去費助成金の増額ができないか、伺います。 ② 集会所の災害復旧に対する支援ができないか、伺います。 ③ 不在地主の山林管理に森林環境譲与税による森林経営管理事業が活用できないか、伺います。 ④ 防災行政無線の平常時の運用について法律及びシステム上、どのような制約があるのか、伺います。 	
(2) 新たな出雲市総合振興計画について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新計画では地域別、地区別のまちづくり像に踏み込んでもらいたいと考えていますが、所見を伺います。 ② 職員の手作りの総合振興計画であることをアピールしている自治体がかかりの数ありますが、それに対する所見を伺います。 	

質問者	10 玉 木 満
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 市営駐車場・駐輪場の利用状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 近年の市営駐車場・駐輪場の利用状況などを伺う。 <ul style="list-style-type: none"> ア 利用状況の推移及び考察 イ 利用促進に向けた考え方 ウ 駅利用者に対して割引制度を検討してはどうか 	

質問者	14 本田 一 勇
質問事項・質問内容	
(1) この夏の水害被害について	
<p>① 防災具として土のう袋は、どこに、何枚、在庫を置くのか決まっていますか</p> <p>② 土のう製作器が、どこに何台あるか伺います。</p> <p>③ 今回の水害でいくら土のう袋を使ったか伺います。100枚単位でいいです。</p> <p>④ 土のう袋は、劣化が速いですが、在庫管理はどうなっていますか。</p> <p>⑤ まとめ 防災関係の市役所職員が、どこに何があることを知ることこそIT化・デジタル化ではありませんか。</p>	
(2) 積極的な人間が、明るい出雲を作ると思いませんか	
<p>① 災害ボランティアに参加すると前向きな人が多い。林道、農道、河川、海岸の維持管理を公募すれば前向きな人が集まります。 この人達の力を借りて、明るい出雲を作りませんか。</p>	

質問者	20 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の農業維持と課題について	
<p>① 令和3年産米の収穫見込み及び、価格動向について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 各品種別の収穫見込み。 イ 各品種別の価格の見通し。 ウ 7月豪雨及び、台風被害による影響。 <p>② 災害による被害状況と復旧の見通しについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 農地・農産物（水稻以外）・機械、施設の被害状況。（被害額も併せて） イ 災害復旧のための支援事業費補助金（出雲農業未来の懸け橋事業）の予算。 ウ 多面的機能支払交付金による災害対応状況と年間事業への影響。 エ 私有地（裏山・畑）での災害復旧対策。 <p>③ 出雲市の農業のデジタル化構想について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア スマート農業の現状と拡大への課題。 イ 行政に於ける農林水産のデジタル化とは。 ウ 生産者に於けるデジタル化のメリットと課題と支援。 エ 中山間地域農業に於けるデジタル化の考えと課題と支援。 オ 有害鳥獣対策に於けるデジタル化の考えと支援。 	